

令和4年度

学校関係者評価 報告書

令和5年3月28日

鹿児島医療工学専門学校

1. 学校関係者評価委員会

委員

岡村 龍也 委員長 (社会医療法人白光会白石病院 透析室統括部長)
篠原 豪 委員 (鹿児島純心高等学校 教諭)
島田 由美子委員 (本校在校生保護者)
津村 勇氣 委員 (本校卒業生 現在医療法人玉昌会
キラメキテラスヘルスケアホスピタル臨床工学技士)

学校

岩井田早紀 (臨床工学学科教員)
上ノ園亮平 (事務課職員) (計6名)

事務局

上ノ園亮平 (事務課職員)

2. 学校関係者評価の実施方法から公表まで

学校関係者評価の実施は会議形式で行い、各項目ごとの採点、総合的な評価、意見をいただき、とりまとめ集計を行い今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表を行う。

3. 学校評価書面開催の日程

- 令和5年3月4日 学校関係者評価委員会開催
- 令和5年3月28日 集計・公表

各項目ごとの採点結果(評価段階1～5)

①教育理念・目的・人材育成像	3.4
②学校運営	4.2
③教育活動	3.4
④学修成果	3.6
⑤学習支援	3.8
⑥教育環境	4.4
⑦学生募集と受入れ募集	4
⑧財務	4.2
⑨法令等の遵守	4.8
⑩社会貢献・地域貢献	3.4
⑪総括	3.8

目次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

* 本評価書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする

- 5：最良 非常に適切な対応をしている
- 4：適切 適切な対応をしている
- 3：ほぼ適切 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される
- 2：やや不適切 やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある
- 1：不適切 対応が全くできていない
- NA： 該当なしまたは未実施

	学校関係者評価委員会
A	医療従事者(臨床工学技士)
B	教育関係者(高等学校教諭)
C	在校生保護者
D	卒業生(臨床工学技士)

①教育理念・目的・人材育成像		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		3	3	4	3	4	3.4
評価結果 (総括)	外部向けにもホームページなど公開しているが、今後も学生や職員に対して、周知徹底を図っていく必要がある。						
	朝のあいさつ運動など教職員が率先して教育理念等を浸透させる取り組みをおこなっている。						
	先生方が積極的に生徒に挨拶や声かけをし、愛情を持って接して下さっていることが伝わる。						
	教育理念は、あまり周知されていない事が残念である。						

②学校運営		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		4	4	4	4	5	4.2
評価結果 (総括)	学生アンケートを行うなど学生の意見を大切にす姿勢がみられた。						
	柔軟な運営がなされていることが窺える。						
	経営者が変わり内部を改善できた事を聞きとても嬉しかった。						
	先生方が喜んで、やりがいを持って働いて下さる事が、生徒に良い影響を与えると思う。						

③教育活動		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		3	3	4	3	4	3.4
評価結果 (総括)	教育カリキュラムは明文化され、事前に学生に開示されている。外部講師や卒業生の講演など引き続き行っていただき						
	学生には資格取得はもちろんですが、社会教育やマナー、臨床工学技士の将来像などの教育も重要。						
	講演会の実施など、キャリア教育にもよく努められている。						
	卒業生の講演の機会を設けるなど、良い意識づくりになると思う。先生方の努力がうかがえ指導にも熱心であると感じる。						

④学修成果		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		4	3	3	4	4	3.6
評価結果 (総括)	国家試験合格率の目標設定や取得率向上のための対策は講じている。合格率、就職内定率ともに100%を目指して取り						
	んでいただきたい。コロナ禍の影響が大きかったと思われる。						
	現2年生のME合格率が低く、遅刻・欠席なども不安なところではあるが、入学を志願する時点で人間性や適性をはかる						
	ことは難しいので、このように波がある事は仕方ないと思う。資格取得とCEとして働きたいという希望を持たせるために						
1年目から現場の見学を取り入れて、学ぶ意義を理解してもらいたい。物理や数学や医療各論も難しく、早期につまづいて							
いるのではないかと考える。							

⑤学習支援		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)					
評価		学校	A	B	C	D	平均	
		総合評価	3	4	4	3	5	3.8
評価結果 (総括)	今年度より聴講生制度を導入するなど学生に寄りそった取り組みを実施している。							
	定期的な面談など、学生に寄り添った指導がなされている。							
	入学後にアルバイトが忙しくなり疲労する。あるいは一人暮らしで衣食住の管理にストレスを感じたり、夜型になり授業集中できない等、学校側のフォローができないことが多いと思う。遠方の方や一人暮らしの方は特に、早めに保護者に知らせ、面談して遅刻や成績低下について話し合うことが必要と思う。先生方が18時まで残り、学生を指導して下さるようになったと聞いてとても良かったと思った。							

⑥教育環境		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)					
評価		学校	A	B	C	D	平均	
		総合評価	4	4	5	4	5	4.4
評価結果 (総括)	関係法令に適合した教育環境となっている。							
	設備の情報化など充実が図られている。							

⑦学生募集と受入れ		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)					
評価		学校	A	B	C	D	平均	
		総合評価	4	4	4	3	5	4
評価結果 (総括)	積極的な広報活動がなされており、現状92%の充足率となっている。今後も安定した入学生を集めるためにはやはり合格100%を達成する必要があるのでは。							
	概ね積極的に取り組まれている。							

⑧財務		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)					
評価		学校	A	B	C	D	平均	
		総合評価	4	4	5	4	4	4.2
評価結果 (総括)	会計監査体制が明確化されており、適切な会計処理が行われている。今後は財務状況の情報公開も積極的に取り組んでいただきたい。							

⑨法令等の遵守

		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		5	4	5	5	5	4.8
評価結果 (総括)	関連法令を遵守し、適正な運営が行われている。						
	弁護士の指導のもと、適切に遵守できている。						

⑩社会貢献・地域貢献

		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		3	3	3	3	5	3.4
評価結果 (総括)	コロナの影響もあったかと思われるが、今後は地域や関係団体のイベントにも積極的に参加する姿勢が必要。						
	学生が地域社会と繋がる経験ができるとよい。						
	コロナ禍で制限が多くあり、思うように活動できなかった事は残念でした。献血のように社会貢献した事をSNSに上げ周知できた事は良かった。これからいろいろなイベントに参加されて、学生たちの思い出も増えると良いと思う。						

⑪総括

		自己評価 (1~5)	学校関係者評価委員会評価(1~5)				
評価		学校	A	B	C	D	平均
総合評価		3	4	4	4	4	3.8
評価結果 (総括)	前年度の評価を踏まえて、問題点は改善されている。						
	従来からの良い特色は活かしつつ、外部との連携も回り新たな取り組みも進めていく必要がある。						

学校関係者評価委員会の総合評価・総括

○鹿児島医療工学専門学校重点項目に対する評価

①目標資格合格率100%

個別指導や少人数教育を積極的に行い、合格率100%を目指していただきたい。
聴講生の制度など、合格率だけにとらわれず、学生を大切にされていることも評価できる。
3年生全員の合格・就職達成見込みは素晴らしいと感じた。
成績の良い年、厳しい年とあるでしょうが、先生方が熱心に指導して下さるので、国試合格100%は夢ではないと思います。日本一の合格率となれますように応援しています。

②就職内定率100%

日頃より、学校側と病院等の連携強化を図り、就職内定率100%を目指してほしい。
1人1人丁寧にフォローされていることが窺える。
看護師や理学療法士のように求人が多い職種ではないと思いますので、生徒が県内、県外、市内と希望に沿ったところに行けたらうれしく思います。また、就職後の離職率（個人に合った就職先のあっせんができているのか？）についても知りたいところです。

③欠席遅刻者、退学者、留年者の減少

退学者の理由などをしっかりと分析し、今後の対策に役立てていただきたい。
問題を抱える学生にもさまざまな背景があると思われる。
保護者と連携しながら、丁寧に対応されていることと拝察される。
2年生の指導体制の乱れが気になった。
留年のラインはしっかり決めないといけないですが、退学すればそれまでの学費も無駄になり親も本人も大変なので、なんとか卒業までがんばって欲しいです。
先生方が生徒ひとりひとりを良く見て下さっているので安心していきます。

④定員充足

積極的に高校訪問を行い、学校との連携をさらに深めていく必要があるかと思えます。
コロナ禍でのPRは難しいと思われるが、高い充足率を維持されている。
四国の定員割れ、鹿児島にも医療ばなれの影響があるとのことで残念です。
新学科も考えておられるとの事で経営努力されていると思えました。
国試合格率、就職率が上がれば入学希望者は増えてくると思えます。

⑤学校行事の開催及び新設

コロナ禍で開催が難しく、大変だったかと思えます。今後は学生の意見も取り入れながら積極的な活動に期待しています。
学生のニーズに合うイベントが検討されているようで、今後に期待できる。
新たにME試験後の旅行など、先生方が生徒のために何が出来るか？をいつも考えて下さっていると感じました。
ネットの口コミにも暖かく良い学校で皆が親切だと書かれていました。
すべて先生方の努力だと思っています。